

**●テーダマツ並木**

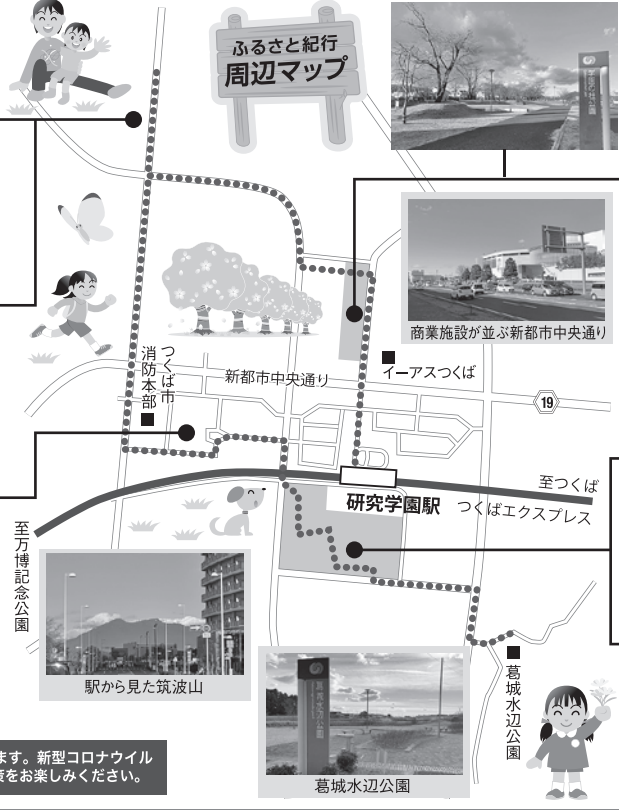
テーダマツ保存緑地の管理について

学園の森地区を象徴する美しいテーダマツの並木。つくば市が重要な樹木として管理しており、安全を確保しながら樹形を整えている。

**●つくば市役所**

つくばエクスプレスが開業した5年後の平成22年に開庁。近年はコミュニティ棟も新設されている。

コースは季節を問わずに楽しむことができます。新型コロナウイルス感染症拡大等の状況を考慮しながら、散策をお楽しみください。



**●学園の杜公園**

**●研究学園駅前公園**

**●つくばスタイル館**

駅の南側にある総面積7.3haの公園。芝生広場や地域の文化を体験・学習する古民家施設の「つくばスタイル館」がある。

大型ショッピングセンターの「イラスつくば」に隣接する公園は桜の名所。芝生広場からは雄大な筑波山を眺められる。

**● 散策コース ●**

駅北口からは正面に筑波山が見える。筑波山に向かって歩いていくと、右側にショッピングモールのイースつくば、左側に学園の杜公園がある。学園の杜公園は日本自動車研究所の高速周回路に沿って植樹された桜がそのまま残っており、春には多くの花見客が訪れる。近くには松の巨木が美しく並ぶ「テーダマツ保存緑地」がある。こちらは日本自動車研究所の防風林として1960年代に植えられたもので、地域が開発される前の面影を見ることができる。

テーダマツ並木から新たに開発された市街地を眺めながら南側

(研究学園駅方面)に進むとつくば市役所が見える。市役所を通って駅の南口に向かうと広大な研究学園駅前公園にたどり着く。散策路のある池や芝生広場、遊具、古民家などがあり、つくばエクスプレスを眺めるスポットにもなっている。さらに西側の蓮沼川沿いには、2015年にオープンした葛城水辺公園もある。駅周辺の多くの公園は、充実した都市機能、豊かな自然、科学のまちならではの知的な環境を表す「つくばスタイル」を体感する重要な場所となっている。

研究学園駅はシェアサイクル「つくチャリ」の拠点にもなっている。市内の公共交通を補完する新しい移動手段。スマートフォンがあれば利用できる(有料)ので、上手に活用しよう。

●お問い合わせ／つくば市公園・施設課、つくば市観光推進課 ☎029(883)1111(代) ●企画・制作／読売茨城広告社 ☎029(244)5555

Vol.131

つくば エクスプレス

駅からのふるさと紀行 けんきゅうがくえん

# 研究学園駅

ばんばくきねんこうえん

## 万博記念公園 つくば

●お知らせ●

2023年3月より、「ふるさと四季紀行」企画のシリーズ連載がスタートいたします。今後とも是非ご覧くださいませよう宜しくお願いいたします。

働く人と、世界を走る。

### ISUZU

## 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代) <https://www.ibaraki-isuzu.co.jp>

広告

●ロータリーを備えた北口。区間快速や通勤快速も停車する。

●改札

●南口

つくば市役所の最寄り駅・研究学園駅は、平成17年のつくばエクスプレス(TX)開業に合わせて設置された。駅があるのは財団法人日本自動車研究所(JARI)のテストコース跡地。TXの計画当初は「葛城駅」という仮の名称がついていたが、開業2年前に現在の駅名に変更された。

TX開業以来、沿線地域はめざましい発展を見せている。研究学園駅周辺もマンションが林立し、住宅地も多く建設されるなど、人口は増え続けている。また、商業・業務施設が充実し、つくば市を代表する複合市街地となっている。都市の発展に合わせ、駅の利用者も増えている。

緑地と融和したまちづくりを進める葛城地区。地域には公園や未活用の土地も多い。研究学園駅周辺は今も進化を続けている。数か月も空けて訪れれば、以前と違った新しい風景を目にすることだろう。

\*イラストはイメージです。

2023年2月26日掲載 読売新聞茨城版【全5段】

広告原稿校了後、「読売新聞広告掲載基準」に基づいた審査がございます。審査結果により原稿内容の修正・変更をお願いする場合がございますので予めご了承ください。

校正日	月	日( )	:	校正担当	営業担当	制作担当	株式会社 読売茨城広告社 水戸 / TEL.029-244-5555(代) FAX.029-244-5151 mito@yoiko.co.jp つくば / TEL.029-821-6432(代) FAX.029-824-1754 tsukuba@yoiko.co.jp
					赤須	根本	